

事務事業名		事務報告書作成事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	行政経営係	担当課長名	齋川一彦	
	施策	3 市政情報の共有と広聴活動の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 広報活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	209	一般	2	1	1	事務報告書作成事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
各課で行った事務事業を年度単位で取りまとめ、報告書を作成し議会等に提供する。		各課が所管する事務事業をまとめた「事務報告書」を作成し、決算資料として各部長及び市議会議員等に配付した。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		事務報告書作成部数	冊	80	80	80		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

各課 職員 市議会議員 関係機関		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		職員数	人	-	943	938		
		議員数	人	26	26	26		
		配付部数	部	80	80	80		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

各課において1年間の事務事業を取りまとめることにより、現状分析や事務事業の見直しに利用するとともに、議会等に事務事業の状況を公表する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		事務執行に事務報告書を活用した職員数/配布部数	%	100	100	100		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市政に関心を持ってもらう。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		広報さのを読んでいる市民の割合	%	81.8	76.8	91.0	91.5	92.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	10	13	14					
	事業費計(A)	千円	10	13	14	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			印刷製本費	10	印刷製本費	13	印刷製本費	14		
	人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	150	150	150						
人件費計(B)	千円	584	584	584	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	594	597	598	0	0				

事務事業名	事務報告書作成事業	担当部	行政経営部	担当課	行政経営課	担当係	行政経営係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	事務報告書は、旧佐野市時代から作成していたもので、議会への報告資料として作成された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ICTの推進により、電子情報でのやり取りが増大している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	「財政課が作成している決算書を詳細にすることにより、代替することができないか検討すべき。」という意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 事務報告書を作成し、議会に公表することは、市民の代表である議員への情報提供なので結びつく。また、各課が前年度の事務事業を振り返って作成することにより、事務事業の効率化にも貢献している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
市が行わなければならない	理由・改善案 市の事務事業を取りまとめたものであり、職員や議員が有効に利用することができるので妥当である。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
妥当である	理由・改善案 この事業は、各課の1年間の事務執行を取りまとめた事務報告書を議員へ公表するものであり、妥当である。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 ホームページ等で公開していくべきだが、現状では容量等の問題があり、公開していない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名   行政評価公表事業 事務事業改革改善の方向性で「事務事業マネジメントシートを決算資料として使用し、事務報告書を廃止する」との意見も出ているが、議会への説明資料として作成しており、これまでの報告内容の継続性や記録としての利用価値もあるため、統合・廃止はできない。	
*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 平成22年度より職員には電子データを活用することにしたので、これ以上の印刷製本費の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 事務報告書は、市内部組織、市議会議員、関係機関に配布しており、受益者負担はそぐわない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	事務報告書の記載内容を事務事業マネジメントシートへすべて盛り込み、議会への説明資料として提出・配布できるものになれば廃止できる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			